

ザンビアの初代大統領で、南部アフリカ前線諸国のリーダーとして反アパルトヘイト・反植民地主義のためにたたかい、第3回非同盟諸国首脳会議の開催国議長やアフリカ統一機構の議長（2回）を務めたケネス・D・カウンダ氏が6月17日死去しました。日本AALAは在京ザンビア大使館を通じて以下の弔電を送りました。

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会（日本AALA）は、ザンビアの初代大統領、ケネス・デビッド・カウンダ博士の死去を悼み、ザンビア政府と国民、故人のご家族に心からのお悔やみを申し上げます。

カウンダ前大統領が残した97年の生涯は、私たちが長い間連帯を強めてきた全アフリカ諸国の植民地からの民族解放運動の傑出した指導者として最もよく記憶されています。

私たちは、アジア・アフリカ人民連帯機構（AAPSO）書記局の一員として、核兵器のない平和で公正な世界を創造するため非同盟運動に深く関わってきましたが、その非同盟運動の発展に果たした故大統領の偉大なリーダーシップに特に感謝しています。

故人のご冥福をお祈りします。

日本 AALA 国際部長 田中靖宏